

夕陽會報



秋の中央埠頭夕景

第233号



◇巻頭言◇

会員の皆様と夕陽会に感謝して

夕陽会前会長 藤川 隆
(昭和48年卒)

去る六月二十五日開催の令和四年度本部総会をもって、会長を退任いたしました。平成二十八年六月からの六年間、会員の皆様から温かな励ましのお言葉やお力添えをいただき、力不足ではありましたが、会長の任を果たしてまいりました。会員各位に、改めて感謝を申し上げます。

風間和夫会長には、たくさん課題を残したままバトンを渡すことになつてしまい、心苦しく思っております。しかし、若さと実行力のある風間会長は、時代や母校等の現況に即した「令和の夕陽会」を築いてくださると確信しております。

さて、会長を務めさせていただいた六年間を振り返ってみますと、やはり最初に思い出されるのは、平成三十年の「夕陽会創立百周年記念事業」の取組です。実行委員会の皆さんの知恵と二年間にわたる大変なご苦労によつて、記念誌の発行、式典や祝賀会、記念講演会、美術・書道展の開催など、すべての事業を成功裏に終えることができました。とりわけ、八百名を超える参加者による祝賀会は、まさに圧巻で夕陽会の歴史と伝統が生み出すパワーを実感いたしました。この歴史的瞬間に会長として立ち会えたことは、私の人生にとって大きな誇りとなりました。

次に思い出されるのは、北は稚内から南は東京まで、全国の各支部の総会・懇親会に出席させていただいたことです。その機会に、支部ごとの歴史や伝統による特色ある運営や事業が行われていることを知り、夕陽会がそれぞれの地に深く根差していることを再認識いたしました。

そこには、夕陽会をこよなく愛し、各地で同窓の絆を大切に育ててくださった大先輩たちの熱い思いが脈々と流れ続けていると感じたのです。

また、「会社員・公務員部会」の立ち上げを通して、様々な職種同窓の皆様と出会い語り合う中で、多くの刺激をいただくとともに、自分の視野や考え方の狭さに気付かされました。そして、夕陽会や母校に対する思いや願いが多様であることを学ばせてもらいました。このように様々な地域や職種の会員の皆様とお会いできたことは、私にとって最高の幸せでした。

最後になりましたが、迷走する私を全力で支えてくださった永井元幹事長、白川前幹事長をはじめ、歴代の本部役員と事務局員の皆様に、心から感謝を申し上げます。退任のご挨拶を与えてくれた夕陽会に、これからも恩返しをしてまいります。

令和4年度 全国支部長会議・総会

検討委員会まとめ

「令和の夕陽会」の新しい歩み

令和三年度顧問・参与会

令和四年六月四日（土）、亀田交流プラザにおいて三年ぶりに顧問・参与会が開催されました。当日は、橋田顧問をはじめ、大先輩の参与の皆さんにも出席いただきました。

藤川会長の挨拶の後、議長に天野副会長が選出され、総会議案について意見をいただきました。時代や母校の変化に対応して夕陽会も変わっていかねばならない今だからこそ、様々な課題に会員が結束して、スピード感を持って立ち向かうことが大切だという助言もいただきました。

令和四年度全国支部長会議

令和四年六月二十五日（土）、函館校第十四講義室において全国支部長会議が開催されました。会議には、オンラインも含めて十八名の支部長の皆さんに参加いただきました。

議事に先立って藤川会長より、四月一日付けで異動となった本部事務局員の紹介がありました。

・白川幹事長（附属中学校副校長）

が函館市教育委員会学校教育課長に異動となり、後任は黒田 諭氏。

・太田副幹事長（附属特別支援学校副校長）が中札内高等養護学校校長に異動となり、後任は宮下知子氏。

・総会まで、附属小学校の新田副校長が幹事長を代行。

次に、伊藤副会長と栗田副会長が議長に選出され、総会の議案及び運営について話し合われました。その後、各部からの連絡・依頼事項についての説明が行われました。会議の最後に、各支部から活動状況についての報告がありました。会員数の減少傾向が続いていること、コロナ禍にあって活動が制限されていることなど、共通の課題が報告されました。支部活動が困難な状況にあって、オンラインで総会を開催したり、少人数での交流会・研修会を実施したりするなど、それぞれの支部の工夫についても交流することができました。宗谷支部の佐藤支部長からは、「本年度は大学での開催だったので、遠方から出席させてもらった。久しぶりに大学構内を見ることができて、とても感激した。」との感想もあり、来年度以降、数年に一度は大学で全国支部長会議を開催することを検討

してみても良いのではないのでしょうか。

令和四年度夕陽会総会

全国支部長会議終了後、函館校第一講義室を会場に令和四年度本部総会が開催されました。審議に先立ち、夕陽讃歌を合唱し、藤川会長から「三年ぶりに総会を開催することができた。大懇親会については、残念ながら本年度も断念せざるを得なかった。役員改選や、今後の夕陽会にとって重要な提案もさせていただくので、慎重な審議をお願いしたい。」との挨拶がありました。

次に、議長として水口正紀支部長（小樽）、久富正規支部長（特別支援）、本部役員選考委員及び議事録署名人、記録者をそれぞれ選出して議事に入りました。

報告事項では、新田幹事長代行が令和三年度の会務・事業報告を行いました。その後、新谷財政部長による令和三年度会計決算報告、門脇監査による令和三年度会計監査報告が行われました。

続いて、藤川会長から本年三月の卒業・修了者の就職状況は、約六割が民間企業、公務員と教員がそれぞれ約二割であり、職種も勤務地も多様化しているとの説明がありました。また、学生の夕陽会に対する意識啓発を図るため、教員採用にかかわ

る支援をはじめ、コロナ禍で困窮する学生への生活支援物資の配布、研究・文化・スポーツ活動で顕著な成果を上げた学生の表彰等に取り組んでいることが報告されました。

協議事項では、藤川会長から今後の夕陽会の在り方について、『令和の夕陽会』を考える検討委員会』のまとめ（本号3ページ参照）を踏まえて、大きく次の四点の提案がありました。

- (1) 実働的な役員体制
 - ・副会長及び総務の役割や業務を明確にし、実働的な役員体制とする。
 - ・学生と夕陽会を繋ぐとともに、事務局の業務の一部を担う人員を配置する。
- (2) 学生支援部の新設
 - ・学生の生活や研究・文化・スポーツ活動の支援を拡充するため、専門部として「学生支援部」を新設する。このことに伴って、厚生部を廃止し、北海道教育大学夕陽会細則1・第1条(3)を次のように改正し、令和四年七月一日から施行する。

細則1 組織及び機構

(本部事務局)

第1条 北海道教育大学夕陽会会則第1章の規定による本部事務局には、幹事長、副幹事長の他に専門部長及び部

- ◎ 会長 風間 和夫(昭和57年卒)
- ◎ 副会長 天野 哲征(昭和41年卒)
- ◎ 副会長 伊藤 皓嗣(昭和44年卒)
- ◎ 副会長 西谷 文子(昭和44年卒)

員を置く。
 (3) 各専門部は次の通りとする。
 ・庶務部 ・財政部 ・組織部
 ・情宣部 ・文化部 ・研修部
 ↓厚生部 ・学生支援部

(3) 「学生応援基金」の創設
 ・学生の生活や研究・文化・スポーツ活動の支援を拡充するために、「学生応援基金」を創設し、前納会員及び管理職会員(校長、副校長、教頭)に年額二千円の協力を依頼する。
 (4) 会員名簿の発行
 ・次回の名簿発行時には、前納会員の希望者に有償(千円〜二千円を想定)で配付する。現職会員には、無償で配付する。

令和四年度 本部役員(総会選出)

◎は新任

- ◎ 副会長 島津 彰(昭和48年卒)
- ◎ 副会長 栗田 俊一(昭和53年卒)
- ◎ 副会長 田村 宏美(昭和58年卒)
- ◎ 副会長 新山 亨(昭和61年卒)
- ◎ 副会長 佐藤 雅博(昭和62年卒)
- ◎ 副会長 池田 克己(昭和60年卒)
- ◎ 副会長 谷口 光伸(昭和62年卒)
- ◎ 副会長 藤井 浩之(昭和63年卒)
- ◎ 監査 近藤 健(昭和41年卒)
- ◎ 監査 門脇 正和(昭和42年卒)
- ◎ 監査 林 敏雄(昭和55年卒)
- ◎ 幹事長 新田 英樹(平成4年卒)
- ◎ 副幹事長 藤谷 毅(平成13年院)
- ◎ 副幹事長 宮下 知子(平成4年卒)
- ◎ 副幹事長 黒田 諭(平成5年卒)

「令和の夕陽会」

検討委員会まとめ

令和四年三月三十一日
 藤川 隆(会長) 繪面和子(副会長)
 天野哲征(副会長) 伊藤皓嗣(副会長)
 島津 彰(副会長) 栗田俊一(副会長)
 令和三年九月一日に「令和の夕陽会」を考える会」から提出された意見書に示された十二の提案について検討するため、藤川会長を座長とし、繪面、天野、伊藤、島津、栗田の五名の副会長を委員とした「令和の夕陽会」を考える検討委員会」を立ち上げ、次の日程で検討を行った。なお、検討に当たっては、百年以上にわたり教職に就いた同窓を中心に組織されてきた夕陽会の歴史や伝統の上に、母校を卒業・修了した全員を

会員とし、様々な職種の間窓がつかえることができる令和の夕陽会を目指すことを基本方針とした。
 ◎令和三年十月二十五日
 ・検討委員会発足会議
 ◎令和三年十一月四日
 ・第一回検討委員会(第二回以降は随時開催)
 ◎令和三年十二月上旬
 ・現職の副会長等から意見聴取
 ◎令和三年十二月二十三日
 ・北海道教育大学キャリアセンター 函館センター長 松浦俊彦氏から意見聴取
 ◎令和四年三月二十四日
 ・第九回検討委員会

以上のように計九回の検討委員会で話し合った内容を、次のようにまとめた。引き続き検討を要する内容や大学との協議・調整を行わなければならない内容もあるが、令和四年度本部総会において承認を得た事項から取り組むこととする。
 検討事項1 会員相互の連携を図るための組織拡充の取組や事業内容について

提案① 現在の本部役員や事務局の体制を見直し、様々な職種や若い同窓を役員に加えたり、事務局の役割や業務を検討・整理したりする。

【検討委員会まとめ】
 ・会社員・公務員の会員を本部副会長とする。

・本部事務局の負担軽減のために、副会長や総務の役割や分担を明確にし、実働的な役員体制とする。
 ・試行的に週二日程度の数時間、夕陽記念館準備室に事務局の業務の一部を担うとともに、学生と夕陽会を繋ぐための人員を配置する。(事務費・交通費を支給する。)

提案② 会社員・公務員部会の拡充を図り、全道・全国的な組織とする。

【検討委員会まとめ】
 ・活動の中核となり得る人材を発掘する。
 ・活動を金銭的に補助し、組織の拡充を図る。
 ・組織の拡充を図り、将来的に部会から「会社員・公務員支部」とする。

提案③ 卒業・修了時等に同窓会の入会式を行うなど、同窓意識を高めるよう工夫する。

【検討委員会まとめ】
 ・卒業時等に入会式や説明会を行う。実施時期や内容などについてはコロナ収束後に、大学と協議する。

※紙面の都合上、検討事項1のみを掲載しました。検討事項2〜4も含め、全文はホームページで紹介いたします。(本部事務局 記)

夕陽会運営方針並びに推進事項

令和四年度

《運営方針》

「創造し行動する夕陽会」をモットーに、会員一人一人に活力と潤いをもたらす運営の充実と活動の活性化を図り、次の各事項の進化拡充に努める。

《推進事項》

1 組織強化と運営の効率化

会員相互の連携を重視し、各界会員の組織化と会運営の効率化を図る。

(1) 多くの同窓生が集うための広報活動や組織拡充の取組（重点事項）

(2) 支部、ブロック、部会活動の活性化と本部との連携

(3) 会社員・公務員会員の組織化の推進（重点事項）

(4) 若手会員の運営への積極的な参画

(5) 夕陽会報233、234号の発行

2 人材の育成

人材の発掘と会員の資質・地位の向上を図る。

(1) 多種多様な立場の会員を結び、会員相互が交流・連携できる場や機会の工夫（重点事項）

(2) 地域の教育・文化の振興をリードする会員の発掘と育成

(3) 民間企業、地方公共団体に努める若手会員の中核となる人材の育成（重点事項）

3 財政の効率的な運用と業務の見直し・効率化

「つなぎ」、「集う」視点から、諸事業の再構築と財政の効率的な運用に努める。

(1) 財政基盤の中・長期的な整備策の実施

(2) 本部役員の職務の明確化と専門部、諸業務、諸事業の見直し

(重点事項)

(3) 各支部と連携した諸会費の納入への取組

(4) 地域や職種における会員の多様化に対応できる納入方法の検討（重点事項）

4 研究・研修、文化事業の奨励

会員による個人及び共同の研究・研修等を奨励し、明日の夕陽を担う会員等の研究・研修意欲の高揚を図る。

(1) 研究・研修助成並びに研究内容の紹介

(2) 各支部の研究活動等の支援

(3) 「若手枠」の活用による夕陽会の明日を担う若手の育成

(4) 会員と母校学生による協働活動の奨励（重点事項）

5 母校への支援と地域への貢献

母校の継続と発展を願い、現役学生の支援を行う。

(1) 母校の就職対策関係事業及び教授対策関係事業への支援

(2) 学生に対する同窓会意識の啓発と勧誘活動の工夫（重点事項）

(3) 大学の地域連携・社会貢献への協力・支援

(4) 学生の生活、スポーツ・文化・芸術活動への支援（重点事項）

6 夕陽記念館（北方教育資料館）の整備・活用

記念資料等の収集と適切な保存・展示、活用に努める。

(1) 会員の作品、記念資料などの収集と会報やWebページ等での周知

(2) 夕陽記念館内外の環境整備、陳列品の整備

(3) 夕陽記念館の教育活用、学生・地域住民への開放などの検討（重点事項）

夕陽会本部 事務局業務分担

庶務部

藤谷 毅(附属幼稚園長)
宮下 知子(附属特支副校長)

- 1 諸会議(含懇親会)の諸準備及び進行、記録
- 2 文書の收受、発送及び保管
- 3 会員の慶弔事務
- 4 その他、庶務に関すること

財政部

五十嵐義幸(藤城小長)

- 1 運営会費の徴収、支出事務
- 2 基本金及び特別会計の徴収、支出事務
- 3 予算書、決算書の作成
- 4 前納会員に関する事務
- 5 その他、財政に関すること

組織部

黒田 諭(附属中副校長)

- 1 支部組織の編成と組織強化対策
- 2 会員の動向調査(支部別、校種別会員名簿)
- 3 支部役員名簿の作成、会員名簿の作成にかかわる資料の収集
- 4 その他、組織全体に関すること

情宣部

櫻野 人範(中の沢小長)

- 1 「夕陽会報」の発行
- 2 夕陽会ホームページの作成とその管理
- 3 その他、情宣に関すること

文化部

仲井 靖典(本通中長)

- 1 会員の文化活動に対する支援
- 2 夕陽掲示コーナーの設置、管理
- 3 会員の作品及び記念資料の収集
- 4 文化事業の検討、企画
- 5 その他、文化に関すること

研修部

高橋 吉隆(万年橋小長)

- 1 会員の個人及び共同研究への助成
- 2 支部ブロックにおける研修活動に対する支援
- 3 講演会等の企画、開催
- 4 その他、研修に関すること

学生支援部

長谷川秀雄(桔梗中長)

- 1 学生支援事業の企画、実施
- 2 学生参画による夕陽記念館の整備、活用
- 3 その他、学生生活、各種活動の支援に関すること

令和四年度夕陽会本部役員名簿

会長 函館市八幡町7-13 夫(昭和57年卒)
副会長 函館市富岡町3-26 夫(昭和41年卒)

幹事長 北海道教育大学附属函館小学校校長 新田英樹(平成4年卒)
副幹事長 北海道教育大学附属函館幼稚園副園長 藤谷毅(平成13年院卒)

総務 函館市美原5-31 充(昭和46年卒)
酒井 函館市山の手3-33 充(昭和46年卒)

代表支部長 函館市立港小学校校長 田湯義浩(昭和61年卒)
代表支部長 函館市立大野小学校校長 渡邊聡(昭和61年卒)

監査 函館市立湯川町293 林敏雄(昭和55年卒)
函館市深堀町16 門脇正和(昭和42年卒)

顧問 北海道教育大学函館校キャンパス長 五十嵐靖夫
函館市深堀町35 川島孝夫(昭和31年卒)

函館市中央区南13条西21-1-4 古旗英捷(昭和41年卒)
函館市深堀町14 齊藤孝(昭和41年卒)

函館市中央区南13条西21-1-4 渡利正義(昭和39年卒)
函館市中央区南13条西21-1-4 古旗英捷(昭和41年卒)

函館市中央区北4条西23-1-28 高橋裕光(昭和48年卒)
函館市中央区北4条西23-1-28 高橋裕光(昭和48年卒)

函館市中央区北4条西23-1-28 高橋裕光(昭和48年卒)
函館市中央区北4条西23-1-28 高橋裕光(昭和48年卒)

函館市中央区北4条西23-1-28 高橋裕光(昭和48年卒)
函館市中央区北4条西23-1-28 高橋裕光(昭和48年卒)

函館市中央区北4条西23-1-28 高橋裕光(昭和48年卒)
函館市中央区北4条西23-1-28 高橋裕光(昭和48年卒)

令和四年度支部役員名簿

Table with 10 columns of member information including names, titles, and addresses. Includes sub-headers like (檜), (留), (宗), (上), (小), (後志夕陽), (石), (札).

Table with 10 columns of member information including names, titles, and addresses. Includes sub-headers like (根), (釧), (帯広十勝), (日), (胆振夕陽), (空), (函), (渡).

Table with 10 columns of member information including names, titles, and addresses. Includes sub-headers like (首都圏), (岩), (青森南部), (青森西北五), (青森津軽), (特別支援学校), (高等学校), (網走連合).

就任のご挨拶



同窓の絆を確かなものに

会長 風間 和夫 (昭和57年卒)

六月二十五日に開催されました夕陽会本部総会におきまして、藤川 隆前会長の後任として会長の大役を仰せつかりました。その重責は計り知れないものがございます。もとより力量不足ではございますが、経験豊富な役員の皆様や会務に精通しておられる事務局の方々、そして全国各地で活躍しておられる会員の皆様を支えていただきながら、誠心誠意職責を果たして参りたいと存じます。

私は以前、本部の研修部長を二年間務めておりました。令和元年度は函館市中学校長会長として副会長を務めさせていただきました。しかしながら、幹事長はじめ事務局の経験がございません。したがって本会の運営も含め、細部については、顧問や役員の皆様、事務局の方々にお力添えをいただきながら早急に学んで参りたいと考えております。

また、平成二十七年から二年間、函館市支部長を仰せつかっておりました。函館市の会員の皆様には様々なご理解とご協力をいただきながら支部を運営して参りました。何より当時の橋田会長をはじめ、本部役員や事務局の方々常に函館市支部を支援していただいております。このようにこれまでいただいた本会のご恩に少しでも報いることが会長として与えられた使命とも考えております。

藤川前会長におかれましては、三期六年にわたり卓越した指導力と行動力を発揮され、本会の充実・発展

のために多大なるご尽力をいただきました。心より敬意を表するとともに感謝申し上げます。とりわけ平成三十年の『夕陽会創立百周年』では手腕を遺憾なく発揮されました。記念事業、記念式典、記念誌発行など正に八面六臂のご活躍で『夕陽会創立百周年記念行事』を成功裡に導いたことは会員の皆様の記憶に新しいところと存じます。

さらに藤川前会長は、令和を迎えたことをきっかけに多様な職種や幅広い世代の同窓に親しまれ、持続可能な会になるための改革に着手しました。それが『令和の夕陽会を考える会』であり、『令和の夕陽会』の総会では基本方針が承認されましたので、方針にそって活動を推進して参りたいと考えています。

先日、九月に五校同窓会会長・幹事長会議が開催されました。夕陽会がホストを務めました。コロナ禍で残念ながらオンラインでの開催になってしまいました。各同窓会から今抱えている様々な課題が示され、話題を共有することが出来ました。コロナ禍での運営の制限、会員減少、会員名簿作成の現状など、どの同窓会も共通して課題に直面していることがよくわかりました。

先が不透明な昨今ではありますが、同窓の絆が確かなものになるよう努めて参ります。会員の皆様の一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。就任の挨拶といたします。



就任にあたって

副会長 田村 宏美 (昭和58年卒) 社会福祉法人北斗市社会福祉協議会事務局長

この度、「令和の夕陽を考える会」の意見書に基づき、教職以外の職種として副会長の大役を仰せつかりました。

私は昭和五十八年卒業し、旧上磯町役場に奉職、以来令和三年に退職するまで三十八年間、地方行政に携わってまいりました。

旧上磯町役場では、私が二人目の函教大OBで、役場に先生はいらないうというような趣旨のことを言われた記憶があります。その後徐々に函教大OBも増え、役場内にOB会を作り、歓迎会や新年会などで親睦を図ってまいりました。このOB会は合併後も続いており、近年はコロナの影響で親睦会などはできませんが、



就任にあたって

副会長 西谷 文子 (昭和44年卒)

この度、副会長の重任を仰せつかりまして、その重責に身の引き締まる思いでおります。会長、役員の皆様のご指導を頂きながら、微力ながら努めさせていただきます。

私は、昭和四十四年に母校を卒業し、羽幌町の小学校に採用されて以来、函館市、上磯町、戸井町、知内町とどの地においても夕陽会の諸先輩のご指導、ご支援をいただき、現在に至っております。そのご好意に感謝いたしております。

私は橋田元会長、藤川前会長のもとで総務を経験させていただきました。多くの事を学ぶ事ができました。函館校に教員養成機能存続のために組織

新入職員にとつては違った部署の職員と、同窓という共通点をもって交流できることは心強いものがあつたと思います。

退職後は北斗市社会福祉協議会に再就職しています。社会福祉協議会は民間の社会福祉法人で、赤字経営からの脱却を目指して、経営改善に努めています。

フルタイムでの勤務なので、なかなか時間が取れませんが、教育関係者ばかりの役員の中にあつて、少しでも違った目線から会の運営に携わっていただければと思います。不慣れではありますが、どうぞよろしくお願いいたします。

の総力をあげて運動した事や、平成三十年夕陽会創立百周年の記念事業が盛會裡に終わった事、十年二十年後の夕陽会のあり方を考えるチャンスを与えられた事等があげられます。三年続けて本部総会、大懇親会が中止になるなど、計画していた活動が十分に行えない状態が続いておりますが、先日、学生の生活支援の作業に行き仲間意識を感じてきたところからです。

強い風が吹くと大きく伸びた木の枝はゆらゆら揺れます。誰もが折れないよう祈ります。「創造し行動する夕陽会」真価発揮の時です。



就任にあたって

副会長 新山 亨

(昭和61年卒 函館市立高丘小学校長)

この度、函館市小学校長会を代表し、夕陽会副会長という大役を仰せつかりました。その任の重さに身の引き締まる思いであります。風間会長をはじめ、役員の皆様のご指導を仰ぎながら、微力ながら任を務めさせていただきます。

私は、昭和六十一年三月に卒業後、松前町立松城小学校に赴任、上磯町(現北斗市)函館市の小学校で勤務してまいりました。渡島の二支会、函館支部にお世話になりましたが、どの地においても夕陽会の諸先輩からのご指導、年代を超えた同窓の温

かさを実感させていただきました。夕陽の先輩に、夕陽の仲間を支えられ、今の自分があるのだと痛感しているところです。微力ですが、これまでお世話になった方々へ少しでも恩返しができるよう頑張っております。

皆様のご指導とご支援を賜りながら、会員相互の親睦と発展、教育・文化の創造と振興に寄与できるように僭越ながら、職務にあたらせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。



就任にあたって

副会長 池田 克己

(昭和60年卒 知内町立知内小学校長)

このたび、渡島小中学校長会を代表いたしました。夕陽会副会長という大役を仰せつかりました。風間会長をはじめ、役員の皆様のご指導を賜りながら、夕陽会の充実・発展のために精一杯努めて参る所存です。どうぞ、よろしく申し上げます。

私は昭和六十年に卒業後、同年五月に奥尻町立奥尻小学校に採用され、五年間勤務した後、知内町立知内小学校へ異動し、以来三十三年間渡島管内で勤務してきました。この間渡島管内のみならず、初任地の檜山において夕陽会の諸先輩からのご指導、温かいご支援をいただくことができました。改めて心より感謝申

申し上げます。学校現場において学習指導、学級経営、分掌業務など教師として学ばなければならぬことを、夕陽会の先輩の皆様から日々の実践を見せていただきながらたくさん学び、教師として成長できました。また同期と励まし合ったり、後輩たちと学び合ったりする日々はかけがえないものでした。

このたびの就任を機に、これまでお世話になってきたことを多くの後輩に返していくことができよう。役員の皆様と力を合わせて全力で職務に当たらせていただきます。今後ともどうぞよろしく申し上げます。



就任にあたって

副会長 佐藤 雅博

(昭和62年卒 函館市立巴中学校長)

この度、函館市中学校長会を代表しまして夕陽会副会長という大役を仰せつかりました。風間会長をはじめ役員の皆様のご指導をいただきながら、微力ではございますが、その任を果たしてまいりたいと考えております。よろしくお願いいたします。

わたくしは昭和六十二年卒業後、平成元年に八雲町立蕨野小学校を振り出しに、渡島管内の小中学校で九年間、函館市内の中学校に二十三年間勤務してまいりました。その間、渡島支部や函館支部において、夕陽会の諸先輩から温かいご指導やご支

援を賜り、心から感謝申し上げます。年齢を重ねるごとに同窓への思いも深まり、年代を超えた同窓とのつながりを深く思うようになりました。今日このように教員生活を続けてこられているのも同窓の皆様のおかげであつてこそ、と感じております。

この度の就任を機に、夕陽会の発展に寄与するように職務に当たらせていただくとともに、微力ではありますが、これまでお世話になった方々への恩返しができるように頑張っております。今後ともご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



就任にあたって

副会長 藤井 浩之

(昭和63年卒 北海道 上磯高等学校長)

この度、高等学校部会を代表し、夕陽会副会長という大役を仰せつかりました。風間会長をはじめ、役員の皆様のご指導を仰ぎながら、微力ながら任を果たさせていただきます。私は、昭和六十三年三月に母校を卒業し、北海道釧路工業高等学校に数学科教諭として新採用され、教諭として二校、教頭二校、副校長二校を経て校長二校目の現在に至っております。

高等学校部会は全道一区の勤務となりますので、部会として頻繁に集まることは現実的に難しい状況にあります。私自身も、本部総会をはじめ各種の会合になかなか参加できません

んでした。管理職になってからも勤務地を離れられないため高校部会総会等の会合には函館方面開催には顔を出せず、一月の高教研期間の札幌開催のみに参加してまいりました。そういった中でも、各勤務先に同窓生がいましたし、管理職になってからも先輩に管理職間での相談を持ちかけ親身になっていただくなど、同窓生の存在は大変有難く、感謝しております。

今後は、ご恩返しの意味も含め、皆様のご支援等を賜りながら、夕陽会の発展に貢献できますよう努めてまいりますので、よろしく申し上げます。



就任にあたって

監査長 敏雄 (昭和55年卒)

この度、ご勇退されました、前夕陽会監査武田隆雄様の後任として大役を仰せつかりました林です。風間会長様はじめ役員の皆様のご指導を、賜わりながら、微力ではありますが務めさせていただきます。

私は、昭和五十五年に三月に母校を卒業し、長万部町立長万部中学校に採用されて以来三十六年間、渡島支部に十九年間、函館支部に十七年間お世話になりました。どの地におきましても、時代が抱えていた教育課題や勤務地に応じた適切な対応などを夕陽会の諸先輩からご指導、温かい支援をいただき、心の支え・夕陽の絆を強く感じて勤務してまいり

ました。同期や後輩とも大いに語り合ったことも思い出に残っています。心から感謝申し上げます。また、会長はじめ、役員の皆様から多くのご助言を賜りながら、附属函館中学校勤務時代に夕陽会本部組織部、七飯町勤務時代に研修部長、財政部長を務めさせていただきました。

この度の就任を機に、これまでお世話になった方々への恩返しができるよう、微力ではありますが、職務に当たり、令和の新しい時代の夕陽会の発展に少しでも貢献できるよう努めて参る所存です。今後とも、どうぞ、よろしくお願いいたします。



就任にあたって

副幹事長 黒田 諭 (平成5年卒)

この度、副幹事長(兼組織部長)の任に就くこととなりました。これまで私を見守り育ててくださった夕陽会でございますが、その本部役員としての責任の重さを改めて感じながら今筆をとっております。

私は、平成五年に母校を卒業し、函館市内及び渡島管内の中学校で八年間、附属函館中学校で十一年間勤務しました。この間、様々な場面で諸先輩から御指導・御教示を賜りながら、また、御指導・御教示を通じながらの後輩の皆様から刺激を受けながら研鑽を積み重ねることができました。振り返れば、本当に恵まれた環境で仕事をさせてもらってきたと身

に染みて感じるところです。その後、三年間の北海道教育委員会勤務を経て、国立教育政策研究所に七年間勤務しました。函館から離れた地においても、様々な場面で支えてくださった同窓の皆様には深く感謝しております。

組織部の大きな仕事の一つに会員名簿の整理・発行がございます。全国同窓の皆様とつながることのできる貴重かつ大切な作業であると感じております。微力ながら、私にできることに真摯に取り組んでまいります。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。



就任にあたって

幹事長 新田 英樹 (平成4年卒)

この度の総会において、幹事長を仰せつかりました。誠に微力でありますが、皆様の御支援・御理解を賜り、職責を果たすことができますよう精一杯努めてまいります。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

本年六月の全国支部長会議と本部総会は母校を会場とし、三年ぶりの対面による開催でした。私が副幹事長(組織部長)としてメールや電話

でやりとりをしていた各支部長と直接お話をさせていただく中で、函館

北海道教育大学附属函館小学校副校長)

や母校への熱き思いを改めて実感させていただきました。この人と人とのつながりを大切にしてまいりたいと意を新たにしたいところです。

この度の就任を機に、お世話いただきました先輩の皆様にも少しでも恩返しができるよう、そして、夕陽会の一層の発展のために努めてまいります。不慣れで未熟ではございますが、皆様の御指導・御鞭撻を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。



就任にあたって

庶務部長 (慶弔担当) 宮下 知子 (平成4年卒)

この度、附属特別支援学校副校長として着任すると共に、庶務部長(慶弔担当)に就任いたしました。

私は、令和元年度まで、附属特別支援学校に勤務し、庶務部員として夕陽会業務に携わらせていただきました。

二年間は、コロナウイルス感染症拡大防止対策により、学習活動の変更等の対応に追われた時期でした。この四月から、附属特別支援学校に再度勤務し、附属特別支援学校も学習活動や行事等が大きく変化したことを実感しております。

同様に夕陽会の業務も、私が庶務

北海道教育大学附属特別支援学校副校長)

部員の頃とは大きく変わり、ホームページ等による情報の発信、学生支援の立ち上げ等、着々と新しい取組が行われていました。四月から様々な会議に携わらせていただき、夕陽会が、次の時代を見据えて業務を進めてこられたことを真近に触れ、私もその一員として、しっかりと職責を果たさなければと考えております。

進み続ける夕陽会に、携わらせていただくご縁に感謝しながら、事務局の皆様と力を合わせて業務を進めてまいります。どうぞ、ご指導ご助言をよろしくお願ひ申し上げます。

受賞(章)おめでとございます

*瑞宝双光章 (高齢者叙勲3/1)
阿部 英幸 氏 昭29年II卒
伊達市末永町一三〇の七三

*瑞宝双光章 (高齢者叙勲3/1)
吉田 敏 氏 昭29年II卒
室蘭市日の出町三の一五の八

*瑞宝双光章 (春の叙勲4/29)
細川 勝紀 氏 昭36年II卒
苫小牧市木場町二の二五の六〇一

*瑞宝双光章 (春の叙勲4/29)
中谷 匡利 氏 昭42年卒
青森県造道一の九の二八

*瑞宝双光章 (春の叙勲4/29)
山本 俊秀 氏 昭43年
函館市日吉町二の一三の三一

*瑞宝双光章 (高齢者叙勲5/1)
佐々木慎一 氏 昭30年II卒
函館市巾道二の二六の三三

*瑞宝双光章 (高齢者叙勲5/1)
種谷 俊一 氏 昭32年I卒
函館市杉並町一九の二一

*瑞宝双光章 (高齢者叙勲5/1)
若山 明久 氏 昭33年II卒
七飯町鳴川五の二の六

*瑞宝双光章 (高齢者叙勲6/1)
大島 安長 氏 昭30年II卒
埼玉県志木市上宗岡五の一九の四四

イルミナーナしき二二七

*瑞宝双光章 (高齢者叙勲9/1)
巨尾 雄司 氏 昭32年I卒
七飯町大川九の二二の一

*函館市文化賞 (11/2)
岡部 壽一 氏 昭40年I卒
北斗市久根別四の一〇

*瑞宝双光章 (秋の叙勲11/3)
鍋田 罔雄 氏 昭44年卒
蘭越町字大谷二四四

ご就任
おめでとございます

*森町教育委員会教育長
毛利 繁和 氏 平10年院卒
令4/4/1

*洞爺湖町教育委員会教育長
洪川 賢一 氏 昭61年卒
令4/6/20

*新冠町教育委員会教育長
奥村 尚久 氏 昭57年卒
令4/10/18

*登別市教育委員会教育長
安宅 錦也 氏 昭57年卒
令4/10/23

会務報告



幹事長
新田 英樹
(平成4年卒)

《一般会務》

4/2 北海道教育大学入学式が市民会館大ホールにて実施され、藤川会長・天野副会長・新田組織部長が出席する

4/21 函館市支部総会が実施される

5/7 小樽支部紙面総会実施される

5/20 会計監査が附属小学校で実施される

5/21 檜山支部紙面総会実施される

5/21 石狩支部紙面総会実施される

5/26 第2回本部役員会が亀田交流センターにて実施される

6/4 第3回本部役員会、顧問・参加会が亀田交流センターにて実施される

6/11 帯広十勝支部総会実施される

6/25 ※ハイブリッド開催
全国支部長会議、本部総会が母校にて実施される

6/26 通信陸上が千代台陸上競技場にて実施され、天野副会長がリレー表彰状授与を行う

7/1 藤川顧問・風間会長が渡島教育局と函館市教育委員会へ挨拶回りを行う

7/15 夕陽教育フォーラムが母校にて実施される

7/24 明日の教師養成塾が母校にて実施される

8/8~9 藤川顧問・風間会長が渡島管内教育委員会へ挨拶回りを行う

8/18 学生支援事業 支援物資袋詰め作業を学生支援部5名・副会長4名・事務局・附属学校職員、計24名が附属特別支援学校にて実施する

9/10 五校同窓会研修会を附属函館小学校にて実施され、風間会長と新田幹事長が出席する

11/5 ※オンライン開催
指導主事等会学習会が札幌にて実施され、風間会長と新田幹事長が出席する





小樽支部だより

小樽支部長 水口正紀
(昭和62年卒 小樽市立桜小学校長)

海と山に囲まれた街小樽。夏は海水浴やヨットなどのマリンスポーツ。冬は隣接した三つのスキー場で爽快に滑るウインタースポーツ。石造り倉庫群や北一ガラスなど、魅力あふれる小樽運河。市場で並ぶ新鮮な魚介類、お寿司・あんかけ焼きそばなど、食も豊富で、観光に行ってみたい街ランキングでは常に上位に位置しています。

このような魅力ある街ではありませんが、大きな課題は人口減少です。私が小樽に赴任した三十五年前には十七万人を越えていたのが、今では十一万人をきるまでになってしまいました。学校数も大きく減り、現在は、小学校十六校、中学校十一校、小中併置校一校の計、二十八校となっています。

歴史ある小樽夕陽会も年々会員数を減らしてきましたが、平成三十年には百周年を迎え、今年度は約五十名の先輩会員のお力添えをいただきながら、現職会員五十八名で活動を行っております。

今年度の活動状況ですが、総会は四月に紙面開催としました。三つある部の活動として、研修部は八月に二年ぶりに夏季研修会を実施しました。小樽夕陽会の上泉先輩を講師に迎え、「登校支援室と学校との連携」について、対面方式で講話をしていただきました。研修会後の懇親会は



上川支部だより

上川支部長 清水孝徳
(昭和61年卒 旭川シニア大学指導員)

上川の自然の代表ともいえる大雪山・十勝岳連邦もすっかり雪化粧を施し、本格的な冬の訪れを感じる季節となりました。全国各地で御活躍の夕陽会員の皆様には、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃より、夕陽会上川支部の活動に対し、夕陽会本部はもとより皆様に多大な御理解と御協力をいただいておりますことに心よりお礼申し上げます。

さて、コロナ禍にここまで悩まされるとは、当初考えてもいませんでした。しかし、三年目に入り、夕陽会員のいる学校現場ではこの感染症の性質を見極め、小中学校の運動会等の学校行事や各種教育活動の安全対策には万全を期し、正常な形に戻す努力を積み重ね、その成果も上がってきていると伺っています。この非常に悩ましい環境下で、多感な子供たちの健やかな成長を願い、尽力する姿勢に敬意を表します。

夕陽会上川支部におきましても、未だ懇親会等の事業は、中止としているものの、今年度も感染状況や国・道の動向に注意しつつ、けっしてオールストップではなく、できる事

業は動かしていこうとの心意気の下、上川支部役員会をこまめに開き、鋭意検討を重ねているところです。そんな中、上川支部に待望の管理職(教頭)が誕生し、早速、役員会に参加いただき、上川支部の為に尽力をいただけると返事をいただけたことはうれし限りです。六月に母校で開かれた、全国支部長会議の上川支部の近況報告の中でわたしは新支部長が来年、全国支部長会議に参加します。と宣言してしまいました。どうぞ若い支部長を応援いただきましたと思います。全国支部長会議の席では、藤川会長の会長勇退のお話を聞き、驚きました。上川には何度も足を運んでいただいて勇気づけていただいたこと本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

会議の会場で、お礼を言う間もなく失礼してしまったこと、後悔しています。来年の全国支部長会議には新支部長とともに参加し、感謝の意を述べたいと思っています。

コロナ禍の三年間で失われたものは多々あるかと思いますが、「創造し行動する夕陽会」という不易な命題を掲げ、今後も歩んでまいります。

支部だより

夕陽會員訃報

- 成田 勉氏 昭29Ⅱ 不明
- 札幌市中央区南11条西1の5の5の603 不明
- 大高 喜藏氏 昭20 逝去
- 秋田市千秋中島町15の5 不明
- 菅原 一晴氏 昭39Ⅰ 逝去
- 河東郡音更町柳町北区25の57 妻 紀子氏 逝去
- 和崎 亮二氏 昭29Ⅱ 3 逝去
- 江差町字茂尻町148 不明
- 米坂 敏則氏 昭30Ⅱ 3・4・2 逝去
- 札幌市東区東苗穂6条3の5の38 妻 充子氏 逝去
- 飯田 行則氏 昭50 3・6・4 逝去
- 北斗市常盤2の2の8 妻 美恵子氏 逝去
- 佐藤 栄氏 昭27Ⅱ 3・6・28 逝去
- 東京都世田谷区上祖師谷2の32の26 不明
- 鈴木 横三氏 昭31Ⅱ 3・9・5 逝去
- 伊達市山下町178の148 不明
- 石岡 哲氏 昭49 3・10・5 逝去
- 登別市新生町4の47の9 不明
- 吉原 弘幸氏 昭28Ⅱ 3・10・29 逝去
- 札幌市手稲区手稲本町1条3の3の503 妻 知恵子氏 逝去
- 山口 和子氏 昭30Ⅱ 3・11・2 逝去
- 札幌市東区北49条東16の4の11 不明
- 高橋 春夫氏 昭34Ⅰ 3・11・15 逝去
- 函館市の場町12の2 妻 幸子氏 逝去
- 津坂 俊一氏 昭23 3・11・30 逝去
- 札幌市東区北24条東3の1の10 妻 澄子氏 逝去
- 宮腰屋 世氏 昭30Ⅱ 4・1・8 逝去
- 江差町字円山352 長男 由氏 逝去
- 榎谷 公哉氏 昭30Ⅱ 4・1・20 逝去
- 函館市大森町31の3の505 弘子氏 逝去
- 小林 茂雄氏 昭32Ⅰ 4・1・20 逝去
- 七飯町本町3の5の7 律子氏 逝去
- 横山富美夫氏 昭27Ⅱ 4・1・29 逝去
- 浦河町字西幌別260の3 妻 知恵子氏 逝去
- 中道 和巳氏 昭35Ⅰ 4・1・29 逝去
- 札幌市北区新川2条5の2の26 妻 瞳氏 逝去
- 住山 明氏 昭28Ⅰ 4・1・31 逝去
- 札幌市手稲区稲穂1条7の2の1の512 長男 一明氏 逝去
- 菊地眞一郎氏 昭30Ⅱ 4・2・9 逝去
- 札幌市厚別区厚別南7の21の6 妻 美恵子氏 逝去
- 田村 孟氏 昭26Ⅱ 4・2・18 逝去
- 根室市緑町3の32 妻 美恵子氏 逝去
- 古館 良一氏 昭30Ⅱ 4・3・7 逝去
- 紋別市渚滑町6丁目 妻 準子氏 逝去
- 一戸 静夫氏 昭35Ⅰ 4・3・12 逝去
- 函館市山の手2の49の13 妻 征子氏 逝去
- 大津 克雄氏 昭38Ⅰ 4・3・12 逝去
- 函館市西旭岡町2の29の13 次男 道生氏 逝去
- 夏井 邦男氏 昭40Ⅰ 4・3・12 逝去
- 函館市青柳町28の6 不明
- 辻 清氏 昭30Ⅰ 4・3・15 逝去
- 函館市湯川町1の24の23 不明
- 合田 昌司氏 昭28Ⅱ 4・3・20 逝去
- 函館市美原4の18の17 長女 櫛引ゆかり氏 逝去
- 内藤 憲一氏 昭46 4・3・22 逝去
- 網走市潮見3の6の28 不明
- 丸山 四郎氏 昭28Ⅱ 4・4・22 逝去
- 函館市日吉町1の6の19 妻 悠弥子氏 逝去
- 小澤 公孝氏 昭50 4・4・28 逝去
- 函館市桔梗町4の3の2 妻 允子氏 逝去
- 今井 敏行氏 昭30Ⅱ 4・5・4 逝去
- 七飯町大川5の10の1 妻 秀子氏 逝去
- 忍岡 司氏 昭40Ⅰ 4・5・9 逝去
- 岩見沢市上幌向北1の1の156の145 不明
- 水野 明夫氏 昭22 4・5・28 逝去
- 七飯町鳴川5の10の18 長女 好子氏 逝去
- 安原 道隆氏 昭38Ⅰ 4・5・31 逝去
- 函館市山の手2の39の5 妻 幸子氏 逝去
- 太田 茂氏 昭31Ⅱ 4・6・16 逝去
- 函館市桔梗町3の27の26 妻 幸子氏 逝去
- 能代 理氏 昭30Ⅱ 4・7 逝去
- 函館市鍛冶1の16の10 妻 光代氏 逝去
- 笹川 鐵舟氏 昭34Ⅰ 4・7 逝去
- 函館市深堀町38の4 妻 瑛子氏 逝去
- 小池 栄一氏 昭34Ⅰ 4・7 逝去
- 函館市時任町3の9 息子 倫央氏 逝去
- 佐々木祐子氏 昭59 4・7・1 逝去
- 函館市富岡町1の35の18 夫 章吾氏 逝去
- 大井川 昇氏 昭33Ⅱ 4・7・31 逝去
- 函館市桔梗町1の9の15 妻 泰子氏 逝去
- 附田 庄司氏 昭39Ⅰ 4・8・1 逝去
- 函館市上湯川町21の1の205 妻 俊枝氏 逝去
- 稲岡 敬人氏 昭55 4・8・3 逝去
- 函館市上野町38の23 妻 悦子氏 逝去
- 古谷 慶治氏 昭28Ⅱ 4・8・5 逝去
- 七飯町桜町2の4の11 長男 慶志氏 逝去
- 和田智恵子氏 昭25 4・8・9 逝去
- 襟裳川界隈市旭区今宿東町1681の1の126 二女 真理子氏 逝去
- 坂本 英世氏 昭35Ⅱ 4・8・17 逝去
- 帯広市大空町8の6の9 不明
- 坂口 直義氏 昭39Ⅰ 4・8・18 逝去
- 函館市本通1の36の38 長男 昌敬氏 逝去
- 野々原悠治氏 昭33Ⅱ 4・8・22 逝去
- 函館市鍛冶1の3の14 妻 芳枝氏 逝去
- 中山 伸朝氏 昭36Ⅰ 4・9・2 逝去
- 函館市人見町26の20 妻 知恵子氏 逝去
- 高橋 俊男氏 昭28Ⅰ 4・9・7 逝去
- 札幌市中央区北14条西14の7の55 長男 伸浩氏 逝去
- 野坂晃治郎氏 昭32Ⅱ 4・9・12 逝去
- 函館市中島町1の9 妻 淳子氏 逝去
- 谷藤 雅通氏 昭35Ⅰ 4・9・13 逝去
- 函館市日吉町3の2の31 妻 久美子氏 逝去
- 富尾 勝氏 昭30Ⅱ 4・9・16 逝去
- 函館市山の手2の36の7 長男 拓氏 逝去
- 工藤 貞子氏 昭26Ⅲ 4・10・1 逝去
- 函館市鍛冶1の35の16 姉 美恵氏 逝去
- 坂本 昭雄氏 昭28Ⅰ 4・10・6 逝去
- 札幌市西区西野5条7の3の3 長男 知典氏 逝去
- 宅見 矩男氏 昭30Ⅱ 4・10・7 逝去
- 七飯町大沼町164の3 妻 ヒデ氏 逝去
- 森武 昌樹氏 昭35Ⅰ 4・10・15 逝去
- 函館市柏木町16の11 妻 照子氏 逝去
- 山柿 幸子氏 昭30Ⅱ 4・10・17 逝去
- 北斗市押上2の3の10 長女 松尾元子氏 逝去
- 深栖 逸夫氏 昭33Ⅱ 4・10・24 逝去
- 函館市中道2の15の25 長男 健吾氏 逝去
- 藪 敬氏 昭53 4・10・27 逝去
- 北斗市本町2の10の37 妻 美佐子氏 逝去

編集後記

◆世界が混沌としています。新型コロナウイルス感染症の流行をはじめ、ウクライナ危機に起因する経済の混乱、登校中の子供たちの遙か頭上をミサイルが通過するという今日この頃です。物価は上がるが、給料は上がらない、と嘆く声も多く報道され、国際社会全体も、それぞれの家庭も、多くの人々が困っています。

◆何が善で何が悪なのかわからない中、人々は、どこに、誰に、何を求め、よりどこを見いだそうとしているのでしょうか。多様性を受け入れることのできる寛容さが、国家レベルでも、個人レベルでも試されています。しかし、私たちに夕陽会があります。新たなリーダーを迎え、これまで以上に同窓の絆を強めながら、新生夕陽会を共に創造する時が訪れました。今こそ会員相互が希望を抱いて着実な一歩踏み出す時。

◆明日からの日々が明るく元氣な毎日であることを祈りつつ、夕陽会報第二三三号をお届けします。

(情宣部長 樫野 人範 記 昭60卒)

(本部事務局へのご連絡などは、次の所へお願いいたします。)

041-0806 函館市美原3丁目48番6号
 北海道教育大学附属函館小学校内
 夕陽会本部事務局
 電話番号(01338)46-2235
 夕陽会専用070-8521-9110
 FAX番号(01338)47-7376
 e-mail:sekiyoukai315520@gmail.com

電話番が変更されました！
 (ご確認ください。)